

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社 福証IRフェア 会社説明会



2019年12月9日

証券コード 2579

将来の業績に関する見通しについて

本資料に記載の事業計画、業績予想、および事業戦略は、本資料配布時点での情報を考慮した上でのコカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社（以下CCBJHまたは当社）経営陣の仮定および判断に基づくものです。これらの予想は、以下のリスクや不確定要因により、実際の業績と大きく異なる可能性があることに留意してください。

なお、リスクおよび不確定要因は以下のものに限られるものではありません。CCBJHの有価証券報告書等にも記載されていますので、ご参照ください。

- ・ ザ コカ・コーラ カンパニーおよび日本コカ・コーラ株式会社との契約
- ・ 製品の品質・安全性
- ・ 市場競争
- ・ 天候、災害、水資源等の自然環境
- ・ 法規制
- ・ 情報漏えい・消失
- ・ 個人消費動向、為替レート、原材料費、保有資産等の時価等、経済状況の変化による影響
- ・ 経営統合、業務プロセスの効率化・最適化による影響
- ・ 上記以外の不確定要因

本資料の情報は、情報の提供を目的としており、CCBJH発行の証券への投資勧誘を目的するものではありません。

また、CCBJHは新しい情報あるいは将来のイベントにより、本資料の内容を更新する義務を負いません。皆様におかれましては、CCBJH発行の証券に投資する前に、ご自身の独立した調査に基づいて判断をお願いいたします。



本日の内容

コカ・コーラについて

コカ・コーラ ボトラーズジャパンについて

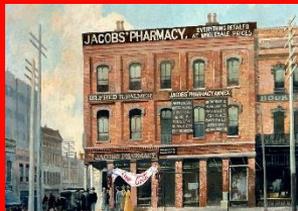
中期計画・業績概要、株主価値向上に向けて





コカ・コーラについて

世界で130年、日本で50年以上親しまれる「コカ・コーラ」



「コカ・コーラ」は1886年アメリカ
ジョージア州 アトランタで誕生



コカ・コーラのびん(コンツアー
ボトル)は日本初の立体商標



コカ・コーラ社製品は、全世界で
1日に約19億杯※1飲まれています



Coca-Cola®

コカ・コーラのブランド価値※2
634億ドル(約6.8兆円)
世界第5位



1928年からオリンピックを
応援しています



コカ・コーラとサンタクロース
1931年のクリスマスキャンペーンから

※1 1杯=約237ml換算。出典：日本コカ・コーラ社
※2 US\$=108円換算。出典：インターブランド社Best
Global Brands 2019

コカ・コーラシステム

コカ・コーラのしくみはフランチャイズシステム

The Coca-Cola Company

日本コカ・コーラ株式会社

(フランチャイザー)

- ブランド
- イノベーション
- グローバル視点
- お客さま志向
- 卓越した洞察力

Coca-Cola

BOTTLERS JAPAN INC.

(フランチャイジー)

- 顧客志向
- 地域密着
- 業界最高の市場実行力
- 最終製品生産
- 物流・配送
- コスト最適化

日本コカ・コーラより
原液を購入し、製品を製造



世界最大級のコカ・コーラボトラー

- 売上高**世界第3位**※の
コカ・コーラボトラー
- 50超のブランドの製品**を
提供する「総合飲料企業」
- 国内コカ・コーラシステムの
約9割の販売数量を担う



※2018年末時点



コカ・コーラ ボトラーズジャパン について

会社概要

社名	コカ・コーラ ボトラーズジャパン ホールディングス株式会社
設立	1960年12月20日 (2018年1月1日 コカ・コーラ ボトラーズジャパン ホールディングスに商号変更)
資本金	152億32百万円
所在地	本社：東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー 本店：福岡市東区箱崎七丁目9番66号
連結従業員数	17,020名
時価総額	5,598億円
上場取引所	証券コード：2579 東京証券取引所(市場第一部) 福岡証券取引所

2019年6月30日現在
時価総額は2019年11月19日終値(¥2,714)にて算出



BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

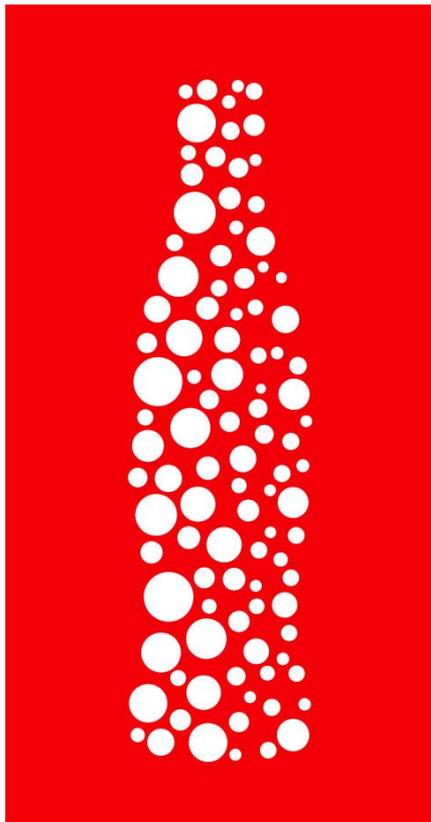


代表取締役社長
カリン・ドラガン

- 2019年3月26日付で社長就任
- コカ・コーラウエストとコカ・コーラ
イーストジャパンで変革と統合に
リーダーシップを発揮
- 25年以上にわたるコカ・コーラ
システムのグローバルオペレー
ション経験
- 直近はザ コカ・コーラ カンパニー
のボトリング・インベストメント・
グループ(BIG)のプレジデントと
して、15カ国、世界人口の約1/4
をカバーするBIG事業を統括



ミッション、ビジョン、バリュー



Mission

Deliver **happy moments** to everyone while creating **value**

Vision

- We are the **preferred partner** for our **customers**
- We **win in the market** through sustainable growth
- We lead a **learning culture** with **commitment to grow**
- We are the **best place to work** with **pride for Coca-Cola**

Values

- **Learning**
- **Agility**
- **Result-orientation**
- **Integrity**

ミッション

すべての人に**ハッピーなひととき**をお届けし、**価値**を創造します

ビジョン

- すべての**お客さま**から選ばれる**パートナー**であり続けます
- 持続可能な成長により、**市場で勝ちます**
- 常に**学び**ながら**成長**します
- **コカ・コーラに誇り**を持ち、誰もが**働きたい**と思う**職場**をつくります

バリュー

- **学ぶ**向上心を忘れません
- 変化を恐れず**機敏**に行動します
- **結果**を見据え最後までやりきります
- **誠実と信頼**に基づいた気高い志で行動します



飲料事業、ヘルスケア・スキンケア事業を展開

売上収益 9,273億円



飲料事業：8,999億円



ヘルスケア・スキンケア事業：274億円



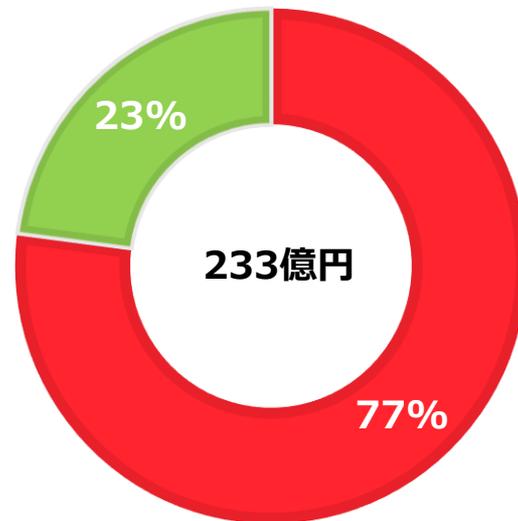
事業利益 233億円



飲料事業：179億円



ヘルスケア・スキンケア事業：53億円



2018年実績

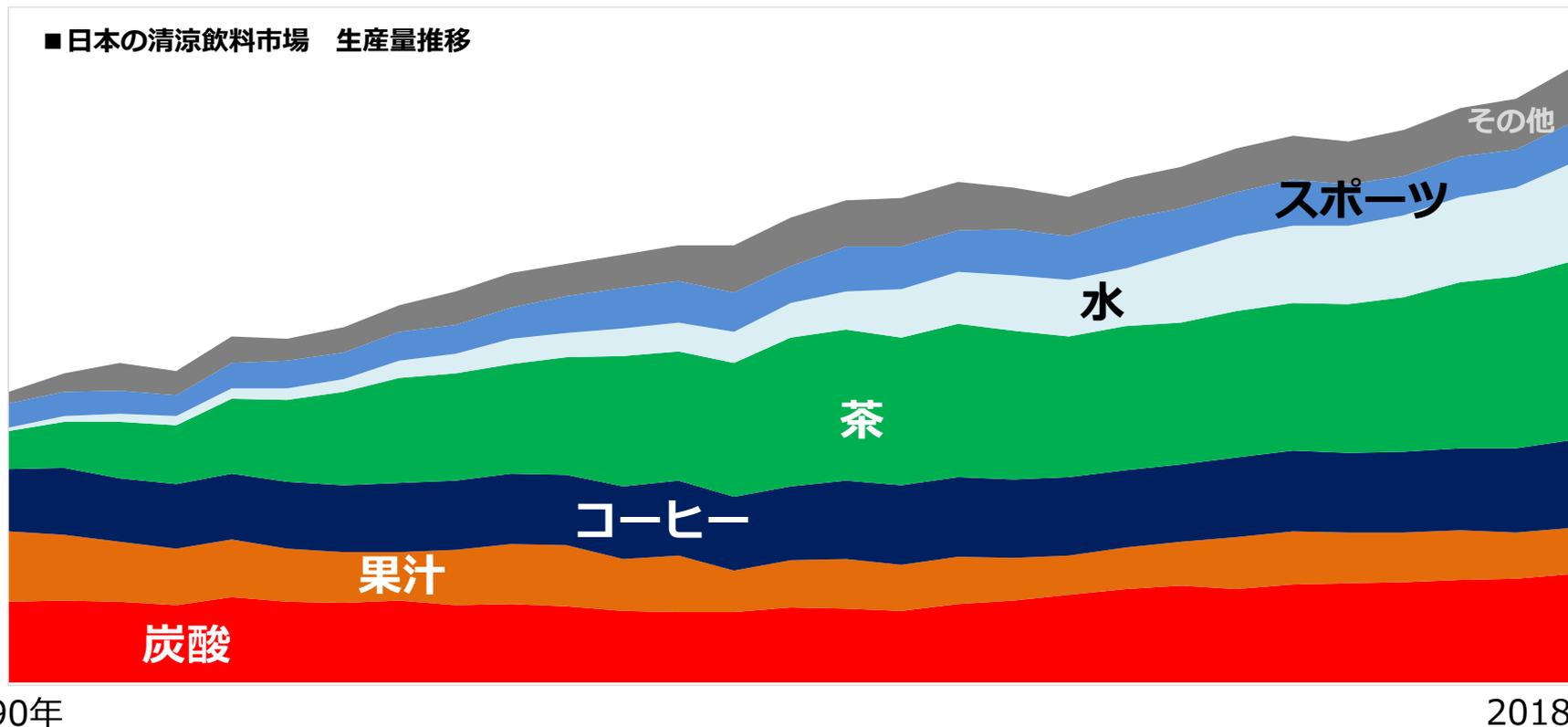
事業利益：IFRS適用後、事業の経常的な業績をはかるための指標として導入した指標



飲料事業

成長する日本の清涼飲料市場

カテゴリーの多様化等により清涼飲料市場は成長



1990年

2018年

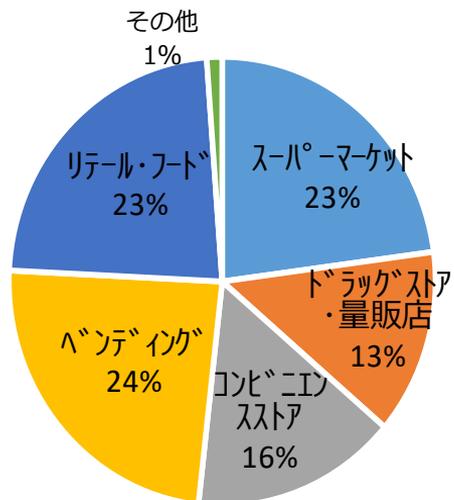


出典：全国清涼飲料工業会

Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

チャンネル別販売状況

販売数量構成比



2018年実績

スーパーマーケット、 ドラッグストア・量販店



キャンペーン等に合わせた売場づくり

コンビニエンスストア



新製品導入による
売場の獲得

お得意さま限定製品・
共同企画製品の展開

ベンディング(自動販売機)



ロケーションに
応じた品揃え



スマホアプリ
Coke ON



自動販売機
限定製品

リテール・フード



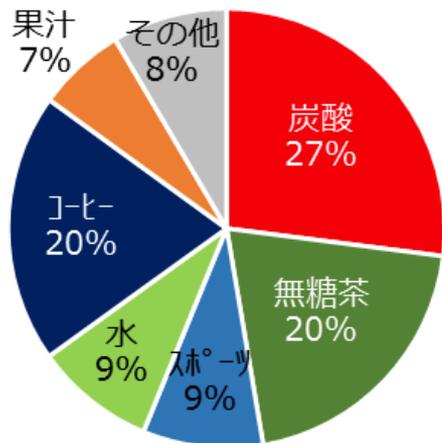
飲食店での
ソフトドリンクの提供
(ドリンクバー等)



売店等での
売場づくり

カテゴリー別販売状況

販売数量構成比



2018年実績

炭酸



無糖茶



スポーツ



水



コーヒー



果汁、その他



成長する健康食品・化粧品市場をターゲットに事業を展開

ヘルスケア、スキンケアの両分野に主力製品を保有。主なチャネルは通信販売



ヘルスケア



ケール青汁



大人のダブルたんぱく

スキンケア



コラリッチシリーズ



新スキンケアブランド
Skinkalede (スキんケールド)
バランスングローション

機能性表示食品



N-アセチル
グルコサミンZ



ひざサポート
コラーゲン



ライラック
01乳酸菌

キューサイ

公式ショッピングサイトも是非どうぞ



中期計画策定の背景

当社の現状

成長性、コスト構造、ケイパビリティの課題に直面

- **成長:** 内部環境や市場環境変化への対応に課題。販売数量・売上が減少
- **コスト構造:** 人件費や原材料コストの上昇、投資の増加が収益を圧迫
- **ケイパビリティ:** 組織の複雑化、機動力と変化への対応力の欠如。
デジタル化・IT導入と活用の遅れ

“日々の活動を「正しく」行いつつ、
中長期的に効果を生み出す「正しいこと」を行う”

- 代表取締役社長 カリン・ドラガン



2024年までの中期計画：成長軌道への回帰に向け抜本的な変革を実行

2017-2019
統合

- 組織、システム、プロセスの統合・標準化
- 統合シナジー創出

2020-2022
リセットと変革

- コスト構造と企業文化の変革
- 成長に向け顧客志向の投資実行

2023-24
業界最高水準を目指し、さらなる成長

- 適切な追加投資の実行で成長加速
- イノベーション、オペレーションにおいて業界最高水準

売上成長基盤の強化

営業部門の変革を通じた成長

コスト効率改善と先行投資

2022年 事業利益目標

331億円

(事業利益率3~4%)

2024年 事業利益目標

490億円

(事業利益率5~6%)



重点分野：成長実現に向けビジネスを抜本的に変革

すべてのお客さま(消費者)、お得意さまから、あらゆる飲用機会ですべて選ばれる飲料会社に

強固かつ持続的なオペレーティングモデルを確立し、重点エリアでの成功を目指す

製品

成長
戦略

コスト削減・
インフラ整備

戦略実行の
基盤
(イネーブラー)

ザ コカ・コーラ カンパニーのリードにより、
既存・新規カテゴリーでのポートフォリオ競争力を高める

ベンディング
事業の変革

お得意さまとの
戦略的関係強化、
販売機会の拡大

成長投資を加速する低コスト体制の確立

営業の変革

サプライチェーン
と製造効率向上

バックオフィスの
最適化

ケイパビリティ、能力重視の文化、
アカウントビリティ

社会との共創価値
ESG目標



2024年の主要指標・目指す姿

2024年目標

売上収益

売場の拡大、手売りチャネルの成長とベンディングの減少幅縮小

売上収益成長：+0.5~1% CAGR
販売数量成長：+1~1.5% CAGR

数量・金額シェア

数量・金額シェアとも拡大を目指す。変革初期は数量シェアが金額シェア成長を上回る可能性も

金額シェア成長 

事業利益率

前回の中期計画で見込んでいた成長軌道への回帰

5~6%

1株当たり当期利益

リセットと変革を通じ収益力を改善し、最終利益の成長につなげる

標準化EPS:3倍以上
(事業利益に含まれない一時的な影響を除いたEPS)

ROE

収益力改善を図るとともに、バランスシートの最適化と効率化を実行

5~6%

株主還元

変革期間中は安定配当に注力。自己株式取得等は適宜検討

中期的には安定配当に注力
長期的には配当性向30%以上

*増加目標は2019年予想比



ベンディング事業の変革

オペレーションプロセスの変革



- 自動化・デジタル化を目指し、従来のオペレーションモデルの効率改善に着手
- オンライン対応自販機の増加
- 近畿エリアで業務の見直し・分業化のパイロットを開始。2020年以降、全エリアに展開拡大

自販機を主役にした包括的キャンペーン

コミュニケーション

笑顔を、ここから。



製品ラインナップ

HOT 製品



ワンコインコーナー



プロモーション



ホワイトスペースへの参入 (新カテゴリー)

檸檬堂 全エリア導入

調理するように
丁寧につくりました。

こむわりレモンサワー
檸檬堂

こむわりレモンサワー
檸檬堂

こむわりレモンサワー
檸檬堂

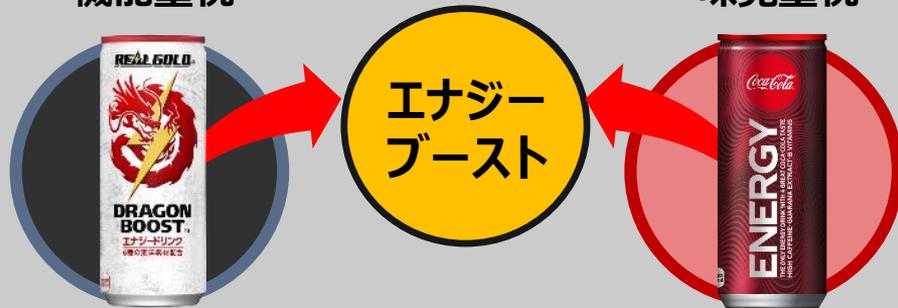
こむわりレモンサワー
檸檬堂

お酒は二十歳になってから のんだあとにはリサイクル

未参入のエネルギー市場に2つのアプローチ

機能重視

味覚重視



ドラゴンブースト
東洋の素材

コカ・コーラ エナジー
爽快でおいしい

昇りつづける。
ためのエネルギー

NEW

REAL GOLD
DRAGON BOOST
エナジードリンク
東洋の素材を配合

#3をいっつづける

コカ・コーラ
エナジー、
誕生。

NEW

REAL GOLD
ENERGY
エナジードリンク
爽快感とおいしさ



2019年 第3四半期業績

- 飲料事業の事業利益は概ね計画通りに進捗するも、ヘルスケア・スキンケア事業の厳しい状況が継続。営業損失・四半期損失にはQ2ののれんの減損619億円を含む
- 7-9月の手売り市場シェアは金額・数量ともに前年同期比プラス
- 10月より檸檬堂を当社全エリアで販売開始し、自社工場での製造をスタート

IFRS	2019年第3四半期	2018年第3四半期	増減
売上収益	694,763	710,317	-2.2%
飲料事業 販売数量 (百万ケース)	384	396	-3%
事業利益	17,103	28,548	-40.1%
営業利益 (△損失)	△51,880	20,090	-
四半期利益 (△損失)	△55,693	12,854	-

飲料事業	2019年 第3四半期	2018年 第3四半期	増減	ヘルスケア・ スキンケア事業	2019年 第3四半期	2018年 第3四半期	増減
売上収益	676,015	688,989	-1.9%	売上収益	18,748	21,327	-12.1%
事業利益	14,613	24,569	-40.5%	事業利益	2,489	3,980	-37.4%

販売数量にはアルコール飲料は含まれておりません。 単位：百万円
 四半期利益(損失)：親会社の所有者に帰属する四半期利益(損失)

供給体制再構築と将来への投資

2019年



新製造設備3ライン稼働開始

- ・京都工場（2ライン）
- ・熊本工場（1ライン）



物流体制最適化「新生プロジェクト」進展

- ・白州工場自動倉庫
- ・熊本工場自動倉庫
- ・埼玉メガDC着工
- ・自社フリート新規導入・増強



2020年以降

～2020年上期

- ・白州工場（1ライン）
- ・蔵王工場（1ライン）
- ・広島工場（2ライン）

2021年～

- ・埼玉メガDC



コーポレート・ガバナンス - 成長志向をサポートする取締役体制



- ↑ 高水準のガバナンスと独立性を実現し、ジェンダー、国籍、ビジネス経験多様でダイバーシティ豊かな取締役会
- ↑ 業務執行取締役・執行役員等に業績連動型株式報酬制度を導入

ガバナンス・独立性

業務執行取締役 独立役員 監査等委員会の社外取締役



ダイバーシティ・ビジネス経験

女性取締役 国籍数 コカ・コーラシステム 財務/監査 日用消費財ビジネス IT/製造業



円内の数字は該当する取締役の人数。国籍の数字は取締役の国籍数

CSVゴール ～共創価値創出に向けて～

「World Without Waste (廃棄物ゼロ社会)」に向けたビジョンとESG目標



リサイクルの加速に向けた
新たな環境目標

World Without Waste

設計

- 50% by 2022: リサイクルPET樹脂の使用率
- 90% by 2030: リサイクルPET樹脂の使用率
- 100% by 2030: 化石燃料を使わないサステナブルPET樹脂の使用率
- 100% by 2025: リサイクル可能な容器の採用
- 35% by 2030: さらなるPETボトルの軽量化

回収

- 100% by 2030: 販売量と同等の回収量

パートナー

- By 2030: 環境保護団体や業界団体との幅広い連携

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

PARTNERSHIPS PLATFORM

廃棄物ゼロ社会に向け、日本のコカ・コーラシステムが目指す
「容器の2030年ビジョン」

国連のSDGs(持続可能な開発目標)17の目標のひとつ、
「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」の実現に向けた
取り組み例として、[国連](#)および[農林水産省](#)から選定・登録される

CSV（社会との共創価値）の取り組み

人々の健康に貢献する

特定保健用食品(トクホ)等の発売



特定保健用食品

機能性表示食品

水分補給セミナーの開催



コミュニティとの連携を強化する

工場見学の実施



カンパニースポーツ運営
コカ・コーラレッドスパークス



環境先進企業へ進化する

廃棄物ゼロ社会に向けた取り組み
「容器の2030年ビジョン」
環境負荷の少ない容器の採用 等



水資源保護活動の推進



人権尊重と社員の働きがい -ダイバーシティ推進-

人権啓発活動・
女性活躍推進



障がい者雇用促進・
活躍支援



働きやすい環境づくり
新ドレスコード
「Sawayaka Style」



財務戦略

資本構成の効率化とROE改善努力を継続

成長に向けた投資

- 2020~2024年の設備投資見込額：3,500億円

財務レバレッジを高めつつも、 許容される格付を維持

- 1,500億円の社債を発行、格付A+/AA-

株主価値の創出

- 変革期は安定配当を維持
- 自己株式取得等のオプションも適宜検討

株主還元を最大化する
最適な資本構成へ

2024年ROE目標
5~6%



配当・自己株式取得

配当

↓ 配当方針

- ↓ 積極的な利益還元を行うことを利益配分に関する基本方針としながら、安定的な配当を最優先
- ↓ 配当性向30%以上を目安

↓ 2019年配当予想

- ↓ 1株当たり50円(中間25円・期末25円、前期と同額)

自己株式取得

↓ 株主価値向上施策の選択肢のひとつとして適宜検討

- ↓ 2018年4月：559億円(1,707万株)
- ↓ 2019年2月：250億円(782万株)



ホームページ紹介、工場見学案内

IR情報サイト

企業情報 IR・投資家情報 お取引希望のお客さまへ 新製品・キャンペーン 社会との共創価値(CSV) 採用情報 ニュース

ホーム > IR・投資家情報

IR・投資家情報

社長メッセージ

IR最新資料BOX

株価情報 東証第1部・2579

2019年11月25日 15:00 (リアルタイム)

取引値 2,727円

前日比 +12円

株価チャート

MEMBER OF Dow Jones Sustainability Indices In Collaboration with RobecoSAM

NADE SHI KO

IRニュース

2019年11月07日 2019年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(速報) [📄](#)

2019年08月07日 2019年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(速報) [📄](#)

2019年08月07日 ぐれんの減損損失の計上および過期業績予想の修正に関するお知らせ [📄](#)

コカ・コーラ ボトラーズジャパン IR情報

検索

工場見学実施工場

コカ・コーラ ボトラーズジャパングループで工場見学を実施している工場

えびの工場

京都工場

蔵王工場

多摩工場

東海工場

コカ・コーラ ボトラーズジャパン 工場見学

検索



THANK YOU

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社
IR部

ir@ccbji.co.jp

<https://www.ccbj-holdings.com/ir/>

facebook: <https://www.facebook.com/ccbji/>

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.